

『スキンケア研修』 研修会実施報告

日時 : 平成 29 年 12 月 2 日
対象者 : 卒後 5 年目以上の看護師
参加者数 : 41 名
目的 : 抗がん剤治療を受ける患者の副作用を知ること
セルフケア指導に役立てることができる

<講師の紹介>

WOC 看護師

2000 年米国 M.D.Anderson Center WOC Program 終了
2006 年豪州クイーンズランド州立 GriffithUniversity
保健看護学部を卒業され、同年当院に再入職。現在当院
の WOC 看護師としてご活躍されています。

がん化学療法看護認定看護師

2012 年がん化学療法看護認定看護師の資格を修得。現
在は外来での化学療法を受ける患者さんだけでなく、多
くのがん患者さんの意思決定支援や病状変化期の療養
支援を中心に携わられています。



<内容>



がん化学療法看護認定看護師から抗がん剤により出現する皮膚症状の基礎・出現時期の違いなどについて講義を受けた後、WOC 看護師からは具体的なケアについて学ぶことが出来ました。基礎的な知識を理解した上で、スキンケアについての講義があったので、何を観察、記録し、どう患者を支援していけばいいのかがより理解でき、今の自分の看護に何が足りないのかを、見つけることが出来たという声が多数聞かれました。MSW も含めた多職種連携の重要性についても気づくことが出来ました。今回の研

修を受講したことで、化学療法を受ける患者に対して行うケアについて、自己課題が明確となる研修となりました。